



みんなでできる 地球温暖化防止活動

—「ごみ」の排出を減らしましよう—

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

■ごみ排出ワースト3位

環境省が2020年3月30日に発表した「一般廃棄物の排出及び処理状況等（2018年度）」によりますと、福島県は3年連続でワースト3位です。大震災と原発事故の影響もあり、12～15年度は全国ワースト1位でした。

一般廃棄物とは、分かりやすく言えば、家庭から出るごみのことです。県民一人当たり、1029g（1日当たり）のゴミを出していることになります。ちなみに、全国平均は、918gです。

■大量生産、大量消費、大量廃棄

ごみが多いということは、大量生産、大量消費、大量廃棄に慣れた生活をしているということです。生産にも、消費（流通・販売）にもたくさんのエネルギーが必要です。温室効果ガスの二酸化炭素（CO₂）を排出します。

■ごみの出し方を工夫すること

■ごみの出し方を工夫すること

不動産会社の株式会社ku noie（くーのいえ）は、本社のある郡山市安積荒井第一町内会にゴミストックを寄贈しました。不動産会社がごみ問題に取り組んでいます。なぜでしょう？

専務取締役の遠藤美江さんにお話をお聞きしました。「私たちの仕事は、不動産業です。アパートに住む人たちのごみ処理の問題も大切な仕事なのです。一人一人が正しく分別すると、ごみの量が減ります。そして、私たちが仲介したアパートの住人の皆さんのが、決められた収集日にきちつとごみ集積所にごみを出すことは、不動産会社として誇りです。」

■ごみを減らすためには…

「ごみを減らすためには大量消費、大量廃棄の生活を見直すことです」と、遠藤さんからアドバイスをいただきました。「ごみを少なくするために、マイバッグを持つこと、使い切れる分の食材を買うこと。できれば、野菜は使い切りましょう。生ごみの水分は十分に水切りをすることです。分別を徹底すると、ごみが資源に生まれ変わります。」

県民みんなが力を合わせ、ごみ排出全国ワースト3位という汚名を返上しましょう。

（連絡先）<http://fukushima-on-dankaboushi.org/>